



令和3年12月9日(木)

農業生産流通課 果樹・オリーブグループ

担当 坂下・梶野・田中(内線3779)

ダイヤルイン 087-832-3420

香川県のオリーブオイル官能評価パネルが I O C (インターナショナル・オリーブ・カウンシル) から 公式パネルとして4年連続となる認定を受けました

県では、他県に先駆けて、国際的なオリーブオイルの品質管理体制を確立し、本県オリーブオイルのブランド力を強化するため、小豆オリーブ研究所に「香川県オリーブオイル官能評価パネル」※1を設置しており、同パネルが、先月開催されたIOC※2年次総会において、4年連続となる認定を受けました。

1 認定までの経緯について

(1) 目的

他県でのオリーブ栽培が拡大するなかで、本県オリーブのブランド力を強化するためには、小豆オリーブ研究所におけるオリーブオイルの官能評価体制を強化するとともに、その評価技能に対する国際的な認定を得ることにより、県産オリーブオイルの品質の向上と信用力の強化を図る必要があります。

(2) 経緯

小豆オリーブ研究所の官能評価パネルは、平成30年11月に国内初のI O C認定※3を受け、今年度、4度目となるI O Cの技能試験を受験した結果、11月15日(月)～25日(木)に開催されたI O Cの年次総会において認定が決定されました。

2 認定によるメリットについて

- ・県産オイルの品質を示す制度である「かがわオリーブオイル品質評価・適合表示制度」※4の官能評価を、IOC認定を受けたパネルで実施することで、同制度の信頼性を一層高めることができます。
- ・同制度により認定されている34事業者が製造する県産オリーブオイルの信用力とブランド力の強化を図ることができます。
- ・IOC認定パネルとして、国際的に有効な証明書を発行することができ、県産オリーブオイルの国際的な競争力を高めることができます。

【参考】

※1 「香川県オリーブオイル官能評価パネル」とは

- ・官能評価パネルとは、オリーブオイルの官能評価(オリーブ特有のフルーティさ、苦味、辛味などの官能特性)を国際基準に沿って評価する評価員のグループ
- ・本県のオリーブオイル官能評価パネルは、小豆オリーブ研究所の職員のほか、オリーブ関連企業職員などのオリーブに関する一定の知識を有する者から構成
- ・本県の官能評価員は、平成27年より、スペインやイタリアの専門家による研修会の開催や年4回の国際的な技能評価試験を受験するなどの技能訓練を受講
- ・平成28年に、「香川県オリーブオイル官能評価パネル設置要領」を制定し、知事から正式に官能評価員として委嘱

※2 「IOC(International Olive Council)」とは

1 概要

- ・オリーブオイル・テーブルオリーブスに関する国際協定(条約・国際商品協定)に基づく世界唯一の政府間国際機関
- ・昭和 34 年に国連の後援により、オリーブオイル生産国による国際オリーブオイル理事会 (International Olive Oil Council)として設立され、平成 18 年に現在の名称に改称

2 加盟国等

- ・本部マドリッド。加盟国 17 ヶ国及び欧州連合 (EU)。運営資金は加盟国負担金による。
- ・令和 3 年 12 月時点での加盟国 : EU(27 ヶ国)、アルバニア、アルジェリア、アルゼンチン、イスラエル、イラン、ウルグアイ、ウズベキスタン、エジプト、ジョージア、チュニジア、トルコ、パレスチナ、モロッコ、モンテネグロ、ヨルダン、リビア、レバノン
- ・日本は協定を批准しておらず非加盟国
- ・IOC ウェブサイトによると加盟国で世界のオリーブ果実生産量の 98%を占める。

※3 「IOC 認定」とは

- ・ IOC は IOC のトレードスタンダードに基づく化学分析及び官能評価分析の試験所を認定している。官能評価については、現在、公的な試験所・研究所のみが対象となっている。

※4 「かがわオリーブオイル品質評価・適合表示制度」とは

1 制度の概要

- ・香川県産オリーブオイルに対する消費者の信頼を高め、普及と需要拡大を図るため、平成 26 年 10 月に創設
- ・県の認定を受けたオリーブオイル製造事業者は、「香川県産オリーブオイル品質評価基準」に適合することが確認された製品について、「標章」を表示できる。

2 基準

- ・スタンダードとプレミアムの 2 種類の基準を設定
- ・スタンダード基準は、IOC 基準に準じ、プレミアム基準は、スタンダードよりさらに厳しい基準を設定

3 認定事業者

- ・ 34 事業者(令和3年12月現在)



農業試験場小豆オリーブ研究所



官能評価